

## 文化博物館だより No.82

みなさん、こんにちは。

雨、雨、雨。梅雨はどうなっているのかと思っていたら、どんどん降って来ました。

明石公園のお堀も草木も昆虫たちも大喜びのようです。

今号からPDFファイルでの配信になりました。今後ともよろしくお願いします。

### 1. 黒田由美子人形展 ほっこりと心をつつむ 人形たち

明石市出身の人形作家 黒田由美子さんが心をこめて作られた人形たちがみなさんを迎えてくれます。静かにじっと一点を見つめる市松人形は黒田さんのライフワークのひとつ。にらめっこをしたり、糸とりをするわらべ、湯あがりの兄弟、柔らかなほほえみを浮かべる女性の凛とした姿。人形たちが発する心の声を感じてください。

7月2日(土)～7月31日(日)まで



展示中の黒田さん



たけくらべ



いちれつに

### 2. 博物館ボランティア研修 第5回

ボランティア研修5回目が終了しました。今回は「くらしのうつりかわり展」「むかしあそびの支援」「ワークショップ」「図書データベース」に関する研修で、古い生活用具や遊び道具にも実際に触ってもらい、楽しい時間をすごしました。世代ごとにそれぞれ体験が異なり、「これは使っていたなあー」という世代もあれば、「まったく使い方がわからない」といった方もちらほら。今後はさまざまなグループに分かれ、実習を進めていくこととなります。



ベーゴマ回し



くけ台



炭火アイロン

### 3 . 昆虫探検隊 第4回 無事終了！

4月から始めた昆虫探検隊が無事終了しました。今回は雨模様のため採集を短時間にし、これまで標本にした昆虫の名前をつけていきました。図鑑や辞典を使いながら、小さな虫たちはルーペを使って、本に載っている昆虫の写真や絵と比べていきます。「これかな？あれかな？」「先生、これは何ですか？」質問された先生も「うーむ、難しい！」同じような虫たちがたくさんいて、微妙な違いを見つけるのに苦労します。しかし、自分たちが採集し、標本にしたものなので、調べていく姿勢もしっかりとしていました。保護者の方々も熱心で、子どもたちと一緒に、集中した取組みとなりました。

今回、県立人と自然の博物館から沢田先生も来られ、市内の理科の先生たちと一緒に昆虫を採集し、名前付けにも協力していただきました。参加した子どもたちの声には、「昆虫のことがよくわかってきた」「明石公園にこんなにいっぱいいるなんて知らなかった」「たった4回では足りません。来年もあるのかな？」といった感想もあり、将来、この中から“昆虫博士”が誕生するかもしれませんね。子どもたちの活動の様子や標本は8月からの「企画展 昆虫大集合！」で展示報告する予定です。お楽しみに！



バッタもたくさん



カブトムシ（メス）4匹！



沢田先生はたたき網で



図鑑を広げて調べました

明石市立文化博物館

編集：永田浩史